

## 三次元南多様体の芯

広島大理 垣水修 (Osamu Kakimizu)

non-compact 3-mf $d$  について, つぎの P. Scott  
の結果があります:

**Theorem** (P. Scott [7, 8]).  $W^3$ : non-compact  
3-mf $d$  s.t.  $\pi_1(W)$ : 有限生成

$$\begin{array}{l} \implies W \supset \exists N^3 : \text{compact 3-submf}d \text{ s.t.} \\ \pi_1(N) \xrightarrow{\cong} \pi_1(W). \end{array}$$

この定理をもとに non-compact 3-mf $d$  について調べて  
みたことを述べます。以下,

- PL category で論じる,
  - “3-mf $d$ ” はすべて connected, orientable とする,
  - $W^3$  は, non-compact, irreducible 3-mf $d$  と,
- $\partial W$  は compact,  $\pi_1(W)$  は有限生成であるとする。

**Definition.**  $W \supset N^3$ : 3-submfd が  $W$  の芯 (core) であるとは,

(1)  $N$ : compact, irreducible

(2)  $\partial N \supset \partial W$

(3)  $\pi_1(N) \xrightarrow{\cong} \pi_1(W)$ .

•  $W, N$  は共に aspherical だから,  $N$  は  $W$  の deformation retract である.

**Theorem 1.**  $W$  はつねに core をもつ.

証明の方針 Scott の定理から,  $\text{Int} W \supset \exists N_0$  s.t.  $\pi_1(N_0) \xrightarrow{\cong} \pi_1(W)$  となる. この  $N_0$  を, irreducible で,  $\partial N \supset \partial W$  となるものでとり直すことを考える. Irreducible な  $N_0$  をとることは容易にできる.  $\partial W$  を含むようにとるためには, まず  $\partial W$  の各 compo. が incompressible のときを考える. irreducible な  $N_0$  の性質をいくつかしらべておく (cf. Prop. 2).  $U \subset W - \text{Int} N_0$  を  $U \cap \partial W \neq \emptyset$  なる compo. とする. このとき,  $F = U \cap N_0$  は  $\partial N_0$  のひとつの compo. で,  $T = U \cap \partial W$  も  $\partial W$  のひとつの compo からなり,  $U$  が compact になることが示せる. さらに  $U \approx F \times [0, 1]$  となる. これか

ら,  $\partial W$  の各 compo  $T$  に対して,  $T$  を含む  $W - \text{Int} N_0$  の compo を  $U_T$  とすると,  $U_T \approx T \times [0, 1]$  で,  $N = N_0 \cup \bigcup_{\partial W \ni T: \text{compo.}} U_T$  とおけば, 求める core になる.

$\partial W$  が compressible な compo をもつときは,  $W$  を, 有限個の properly embedded な disjoint disks で切つて, 各 compo が incompressible な boundary をもつようにする. この各 compo の core をとり, つなげれば,  $W$  の core が得られる.  $\square$

**Proposition 2.**  $W \supset N$  を core とし,  $C(W - N) \supset U$  をひとつの compo. とすると,

(1)  $\partial U = U \cap N$  は  $\partial N$  のひとつの compo からなる.

(2)  $U$  の end の数はひとつ.

(3) さらに,  $\partial U$  が  $W$  で incompressible ならば,

$\partial U$  は  $U$  の deformation retract である.

(4)  $\pi_1(W)$ : indecomposable ( $\neq 0, \mathbb{Z}$ ) のとき,

$\partial N$  の各 compo は  $W$  で incompressible.

**証明** (1)  $U \cap N$  が  $\partial N$  のふたつ以上の compo からなるとし,

そのひとつを  $F$  とする.  $\text{Int} W$  の s.c.c.  $J$  で,  $J \cap F = \{a\}$ ,

$J$  と  $F$  は  $a$  で transverse に交わるものがとれる. 一方,

$\pi_1(N) \xrightarrow{\cong} \pi_1(W)$  から,  $J$  は  $\text{Int} N$  内の s.c.c. に homotopic である. したがって,  $J$  と  $F$  との intersection number を考えれば矛盾.

$$(2) \quad W' = C(W-N) \text{ とおく. } W' \cup N = W, W' \cap N = F \cap N.$$

D.B.A. Epstein [ 1 ] から,  $W'$  の end の数は  $\dim_{\mathbb{Z}_2} H_e^0(W'; \mathbb{Z}_2)$  に等しい.

$$\begin{array}{ccccccc} H_e^0(W') & \longrightarrow & H^0(W') & \longrightarrow & H_e^0(W') & \longrightarrow & H_e^1(W') \\ \parallel? & & & & & & \parallel? \\ H_3(W', \partial W') & & & & & & H_2(W', \partial W') \\ \parallel? & & & & & & \parallel? \\ H_3(W, N) = 0 & & & & & & H_2(W, N) = 0 \end{array}$$

これから  $V$  はちょうど二つの end をもつことがわかる.

(3) Van Kampen の定理からわかる.

(4) は, つぎの事実からわかる:

$M^3$ : compact irreducible 3-mfld について,

$\pi_1(M)$ : indecomposable ( $\neq 0, \mathbb{Z}$ )

$\iff \partial M$  の各 compo が incompressible.  $\square$

**Theorem 3.**  $\pi_1(W)$ : indecomposable ( $\neq \mathbb{Z}$ ) のとき,  $N_0, N_1$  を  $W$  のふたつの core とすると, isotopy  $h: W \times [0, 1] \rightarrow W$  で,  $h_0 = \text{id}$ ,  $h_1(N_0) = N_1$ ,  $h_t|_{(W-K) \cup \partial W} = \text{id}$  ( $K$  は  $W$  の compact polyhedron) となるものがある.

•  $\pi_1(W)$  が  $\mathbb{Z}$  または decomposable のときは, Th. 3 は成り立たない. しかし, 一般につきのことはいえる:

**Theorem 4.**  $W \supset N_0, N_1$  をふたつの core とする  
 $\implies N_0 \approx N_1$ .

Th. 3, 4 を示すためには, つぎの定理が必要となる.

**Theorem 5.**  $M^3$ : compact, irreducible 3-mfd.

$M \supset N_0, N_1$ : compact, irreducible 3-submfd's s.t.

$N_0 \cap \partial M = N_1 \cap \partial M (= \emptyset \text{ 可})$  は,  $\partial M$  の  $u$  かつかの compo からなり, inclusion  $\alpha_i: N_i \hookrightarrow M$  に対して,

$$(\alpha_i)_*: \pi_1(N_i) \longrightarrow \pi_1(M) \text{ mono } (i=0,1).$$

さらに,  $\text{Im}(\alpha_0)_*$  と  $\text{Im}(\alpha_1)_*$  が  $\pi_1(M)$  で conjugate で,

$\pi_1(N_0) \cong \pi_1(N_1)$ : indecomposable ( $\neq \mathbb{Z}$ ).

$$\implies \exists h: M \times [0,1] \longrightarrow M \text{ isotopy s.t.}$$

$$h_0 = \text{id}, h_1(N_0) = N_1, h_t|_{\partial M} = \text{id}.$$

証明の方針 まず, 証明に用いるふたつの定理をあげておく.

**Theorem** (J. Simon [9], W.H. Jaco [3]).

$M^3$ : compact, irreducible 3-mfd.  $M \supset N^3$ : compact, irreducible 3-submfd s.t.  $N \cap \partial M$  は  $\partial M$  のいくつかの component となり,  $N \cap \partial M$  および  $F \cap N = \partial N - (N \cap \partial M)$  は  $M$  で共に incompressible とする. このとき,  $\tilde{M} \xrightarrow{p} M$  を  $M$  の covering とし,  $p_* \pi_1(\tilde{M}) = \pi_1(N)$  とするものとすると,  $\tilde{M}$  の mfd compactification が存在する. i.e.

$\exists \hat{M}$ : compact, irreducible 3-mfd,  $\partial M \supset X$ : compact set s.t.  $\tilde{M} = \hat{M} - X$ .

**Theorem** (F. Waldhausen [ 11 , Prop. 5.4 ])

$M^3$ : compact, irreducible 3-mfd.

$\text{Int} M \supset F, G$ : 2-sided incompressible closed surfaces, s.t.  $F$  と  $G$  は transverse に交わり,  $F \cap G$  は disjoint な circles とし, 'この各 component は  $F$  と ( $G$  と) essential とする. このとき,

$\exists f: F \times [0, 1] \rightarrow M$  homotopy s.t.  $f_0 = \text{id}$ ,  $f(F \times 1) \subset G$

$\Rightarrow F \supset \exists F'$ : subsurface,  $\exists e: F' \times [0, 1] \rightarrow M$  embedding s.t.  $e_0 = \text{id}$ ,  $F' \cap G = \partial F'$ ,  $G' \cap F = \partial G'$   
 $G' \equiv e(F' \times 1 \cup \partial F' \times [0, 1]) \subset G$ .

このふたつの定理を用いて, Th. 5 の証明をつぎのよう

方針でおこなう。まず,  $M$  の isotopy (rel  $\partial M$ ) で,  $N_0$  を動かして,  $\partial N_0 \cap \partial N_1$  は disjoint な circles からなり, この circles の個数が最小であるようにする。簡単のため  $N_0, N_1$  は  $\text{Int } M$  内にあるとする。  $p: \tilde{M} \rightarrow M$  を covering で,  $p_* \pi_1(\tilde{M}) = \pi_1(N_1)$  なるものとする。上記の Simon の定理から,  $\tilde{M} = \hat{M} - X$  s.t.  $\hat{M}$ : compact, irreducible 3-manifold  $\partial \hat{M} \supset X$ : compact subset. となる。このとき  $N_1$  の lift を  $\hat{N}_1$  とすると,  $\hat{M} = \hat{N}_1 \cup \partial \hat{N}_1 \times [0, 1]$  とみなせる。  $\text{Im}(\alpha_0)_*$  と  $\text{Im}(\alpha_1)_*$  とが  $\pi_1(M)$  で conjugate なことから,  $N_0$  の lift  $\hat{N}_0$  が存在する。さらに  $\hat{N}_0$  は  $\hat{M}$  の deformation retract になる。このことから, isotopy  $\hat{g}: \hat{M} \times [0, 1] \rightarrow \hat{M}$  s.t.  $\hat{g}_0 = \text{id}$ ,  $\hat{g}_1(\hat{N}_0) = \hat{N}_1$  の存在が与えられる。さらに, この  $\hat{g}$  を用いて, homotopy  $g: N_0 \times [0, 1] \rightarrow M$  s.t.  $g_0 = \text{id}$ ,  $g_1: N_0 \approx N_1$  となるものが得られる。  $\partial N_0 = A_1 \cup \dots \cup A_m$ ,  $\partial N_1 = B_1 \cup \dots \cup B_m$ ,  $B_i = g_1(A_i)$  とおく。このとき, つぎを示す。

$$A_i \cap B_i = \emptyset \quad (\forall i).$$

$A_i$  と  $B_i$  は  $C_i = A_i \times [0, 1]$  を  $M$  で bound してうる。

$$C_i \cap A_j = \emptyset = C_i \cap B_j \quad (\forall i \neq j)$$

これらの証明に上記の Waldhausen の定理を用いる。これから,  $M$  の isotopy  $\{h_t\}$  で,  $h_1(A_i) = B_i$  ( $\forall i$ ) とできる。さらにこのとき,  $h_1(N_0) = N_1$  となっている。  $\square$

Corollary. Th.5は,  $M$ が non-compact でも成り立つ.

- Th.3は, この Corollary から直ちにわかる.

Th.4の証明の方針  $\pi_1(W)$ が free group ならば",  $N_0$ と  $N_1$ は genus の等しい handlebody である. ここで,

$$\pi_1(W) \cong \underbrace{G_1 * \cdots * G_m * \mathbb{Z} * \cdots * \mathbb{Z}}_{r \text{ copies}} \quad \begin{array}{l} G_i: \text{indecomposable} \neq \mathbb{Z} \\ m \geq 1, r \geq 0 \end{array}$$

と仮定する. このとき,  $N_0$ 内の proper disjoint disks  $\{D_j\}$  および  $N_1$ 内のそれ  $\{E_j\}$  で "つき"をみたすものがとれる.

$$N_0 - \bigcup_j D_j \times (-1, 1) = L_1 \cup \cdots \cup L_m,$$

$$N_1 - \bigcup_j E_j \times (-1, 1) = M_1 \cup \cdots \cup M_m, \text{ s.t.}$$

$L_i, M_i$ は compact, irreducible 3-mfds,

$\pi_1(L_i) \cong G_i \cong \pi_1(M_i)$ ,  $\pi_1(L_i)$ と  $\pi_1(M_i)$ は  $\pi_1(W)$ で互いに conjugate.

これからまず, isotopy  $h: W \times [0, 1] \rightarrow W$  で  $h_0 = \text{id}$ ,  $h_1(L_i) = M_i$  ( $\forall i$ ) となるものの存在を示し, つきに  $\bigcup_i L_i$ と  $\bigcup_i M_i$ に attach されてくる 1-handles  $\{D_j \times [-1, 1]\}$ ,  $\{E_j \times [-1, 1]\}$ の attach のされかたをみて  $N_0 \approx N_1$ を示す.

isotopy  $h$ の構成は帰納法による. まず Th.5 から, isotopy  $h^{(1)}: W \times [0, 1] \rightarrow W$  で  $h_0^{(1)} = \text{id}$ ,  $h_1^{(1)}(L_1) = M_1$  とな



るものがある。このとき  $h_i^{(1)}(N_0), h_i^{(1)}(L_1), \dots, h_i^{(1)}(L_m)$  は  $N_0, L_1, \dots, L_m$  と同様の性質をもつから、簡単のため  $h_i^{(1)}(N_0) = N_0, h_i^{(1)}(L_i) = L_i$  とする。i.e.  $L_1 = M_1$  であったとする。このとき、つきがわかる： $L_2$  と  $M_2$  は  $W - L_1$  の同一の compo に入る。この compo を  $W_2$  とすると、 $\pi_1(L_2)$  と  $\pi_1(M_2)$  は  $\pi_1(W_2)$  で conjugate になる。したがって  $Th_1$  から、isotopy  $h^{(2)}: W \times [0, 1] \rightarrow W$  で  $h_0^{(2)} = id, h_1^{(2)}(L_2) = M_2, h_t^{(2)}|_{M_1} = id$  となるものがある。以下帰納的に isotopy  $h$  を得る。

$h$  の存在から、 $L_i = M_i \subset W$  ( $\forall i$ ) と仮定してよい。

$N_0 \approx N_1$  を示すには、各 compo  $F \subset \partial N_0$  に対して、 $F \cap G \neq \emptyset$  となる  $\partial N_1$  の compo が唯一つあるから、 $F \approx G$  を示せばよい。 $W$  の end を  $E_1, \dots, E_k$  とする。 $Cl(W - N_i) = A_i^0 \cup \dots \cup A_i^k$ ,  $A_j^0$  と  $A_j^1$  の end は  $E_j$  とする。このとき、 $\partial A_j^0 \approx \partial A_j^1$  を示せばよい。これは

$$H^1(\partial A_j^0) \xleftarrow{\cong} H^1(A_j^0) \xrightarrow{\cong} H^1(E_j) \xleftarrow{\cong} H^1(A_j^1) \xrightarrow{\cong} H^1(\partial A_j^1)$$

を示すことによりわかる。□

**Theorem 6.**  $\pi_1(W)$ : indecomposable ( $\neq \mathbb{Z}$ ) のとき、

$$W = \bigcup_i V_i \quad \text{s.t.}$$

(1)  $W \supset V_i$ : compact, irreducible 3-submfd

(2)  $V_i \subset V_{i+1} - Fr V_{i+1}$

(3)  $V_i = N_i \cup (1\text{-handles})$  s.t.

$N_i$  は  $W_i$  の core,  $N_i \subset N_{i+1} - \text{Fr } N_{i+1}$

$Cl(N_{i+1} - N_i) \approx \text{Fr } N_i \times [0, 1]$ .

• Th. 6 で,  $\pi_1(W) = 0$  のときは, "つき" の McMillan, Jr. の定理 [5] になります:

"irreducible contractible open 3-mfd は, handlebody の増大列の union と表わせる."

Th. 6 の証明に必要な lemma をひとつあげておく.

**Lemma.**  $U$ : irreducible 3-mfd.

$\partial U$ : connected ( $\neq S^2$ ),  $\pi_1(\partial U) \xrightarrow{\cong} \pi_1(U)$ . このとき,

$\text{Int } U \supset F$ : 2-sided incompressible closed surface

$\implies F$ : parallel to  $\partial U$ .

Th. 6 の証明の方針  $W \supset N$  を core とすると, Prop. 2 から,

$Cl(W - N) \supset U$  compo に対して,  $U$  は irreducible 3-mfd

$\partial U = U \cap N$  は  $\partial N$  のひとつの compo,  $\partial U \xrightarrow{\cong} U$ ,  $U$  の end

の数はひとつである. 各  $U$  に対して Th. 6 を示せばよい.

ます"つき"が使える:

$$\bullet \cup = \bigcup_i K_i \text{ s.t.}$$

(1)  $\cup \supset K_i$ : compact, irreducible 3-submfd

(2)  $\partial K_i \supset \partial \cup$ ,  $F_r K_i = \partial K_i - \partial \cup$ : connected

(3)  $K_i \subset K_{i+1} - F_r K_{i+1}$ .

つきに,  $V_0 = K_0$  とおき,  $V_0, \dots, V_{m-1}$  まで得られたとして,  $V_m$  を作る.  $V_{m-1} \subset K_m - F_r K_m$  としてよい. 帰納法の仮定から,  $V_{m-1} = N_{m-1} \cup (1\text{-handles})$ ,  $N_{m-1}$  は  $\partial \cup$  の collar.  $\cup' = \text{Cl}(\cup - N_{m-1})$ ,  $K' = \text{Cl}(K_m - N_{m-1})$  とおく.  $K'$  に  $\cup'$  のなかで "cut and paste" をこれ以上はおこなえなくなるまでほどし,  $K'$  から  $K^*$  を得たとする.  $\text{Cl}(\cup' - K^*)$  の唯一の non-compact compo を  $Y$  とし,  $N' = \text{Cl}(\cup' - Y)$  とおく.  $N' \cap Y$  は  $K^*$  のひとつの compo で  $\cup'$  のなかで incompressible であり, したがって上記の lemma から  $N'$  は  $\cup'$  における  $\partial \cup'$  の collar である.  $N_m = N_{m-1} \cup N'$  とおくと  $\partial \cup$  の collar になる. ここで,  $K'$  から  $K^*$  を得た process を考えると,  $K' \subset K^* \cup (1\text{-handles}) \subset N' \cup \bigcup_i H_i$  ( $H_i$ : 1-handle) となることがわかる. したがって,

$$V_m = N_m \cup \bigcup_i H_i \text{ とおけばよい. } \square$$

## References

- [1] D.Epstein : Ends, Topology of 3-Manifolds and Related Topics, ed. M.K.Fort (Prentice-Hall, 1962), 110-117.
- [2] D.E.Galewski, J.G.Hollingsworth and D.R.McMillan, Jr. : On the fundamental group and homotopy type of open 3-manifolds, Gener. Top. and its Appl. 2 (1972), 299-313.
- [3] W.H.Jaco : Lectures on Three-Manifold Topology, AMS Regional Conference Series in Math. 43 (1980).
- [4] D.McCullough : Compact submanifolds of 3-manifolds with boundary ( preprint, 1985 ).
- [5] D.R.McMillan, Jr. : Cartesian product of contractible open manifolds, Bull. Amer. Math. Soc. 67 (1961), 510-514.
- [6] ——— : Some contractible open 3-manifolds, Trans. Amer. Math. Soc. 102 (1962), 373-382.
- [7] G.P.Scott : Finitely generated 3-manifold groups are finitely presented, J. London Math. Soc. 6 (1973), 437-440.
- [8] ——— : Compact submanifolds of 3-manifolds, J.London Math. Soc. 7 (1973), 246-250.
- [9] J.Simon : Compactifications of covering spaces of compact 3-manifolds, Michigan Math. J. 23 (1976), 245-256.
- [10] T.Tucker : Non-compact 3-manifolds and the missing -boundary problem, Topology 13 (1974), 267-273.
- [11] F,Waldhausen : On irreducible 3-manifolds which are sufficiently large, Ann. of Math. 87 (1968), 56-88.
- [12] J.H.C.Whitehead : A certain open manifold whose group is unity, Quart. J. Math. Oxford 6 (1935), 268-279.